



イーストチャレンジキャンプ2019 (国立中央青少年交流の家)



## 献身の証

アルゼンチン宣教師 在原 繁

「こんな生活を続けていてはダメになる…」と、叫ぶような思いで手にしたものは「聖書」でした。「半肉半霊」とも「七肉三霊」とも言える、かつてのデタラメな信仰生活のつげは、「空虚」な日々となつて自分を枯らせていたからです。

「時間ができたので、今日は礼拝へ行き、たまには奉仕をしよう」「今月は欲しいものを買えたので、献金をしよう」と、これが、高校入学時から三年間にわたる私のクリスチャン生活だったので。創造者である神様を心の彼方へ遠のけ、スポーツや趣味を優先してきた者が体感することは創造の初めから同じなのです。聖書の言う通り「空虚な心と思ひ」でしかありませんでした。実に、「だれでも、もしわたしにとどまっていなければ…、枯れます。」(ヨハネ15章6節)、という御言葉を、自分自身で体験する羽目に陥っていたのです。

「踏みまい」と、そう決意した私の本気度は強烈なものでした。「このまま空しい日々を送るぐらいなら、死んだほうがマシだ」と真剣に考えていたからです。まさに「土壇場に立たされた」者の心境でした。思えば、一人神様の御前にひざまづき、熱く本気で祈るのは生まれて初めてのことでした。恥ずかしながら、既に洗礼を受けていたのです。

五日間ぐらい過ぎた頃でしょうか。それまで目を皿のようにして読み続けていた聖書がサーと開かれたかと思うや、心が熱くなり、私の目から涙がこぼれ落ちていました。「主イエスは真の神様」「聖書は誤りなき神の御言葉」の二点に、確信を抱くことができたからです。同時に、聖霊による「霊的な覚醒」を体験した私の内面に、変化が起こっていました。それは「価値観の変化」という、信仰から来る霊的体験でした。「二人で神様の御前」に立つことがなかったら、価値観の変化と「献身」への決意は生まれなかったと思いません。

## ベトナムの宣教 ②

吉田 隆

ベトナムは、共産主義の国です。キリスト教の状況は、大きく分けると、政府公認教会、家の教会とカトリック教会の3種類です。その中で、家の教会（地下教会）は、共産党政府から公に活動することが許されていません。

私たちが訓練をするのは、家の教会のリーダーたちです。アジア・アウトリーチの大宣教命令学院（GCI）は、厳しい公安局の監視の中にあっても、この働きをしてきました。そして、外国から（主にマレーシアやシンガポール）教師たちが出かけて行き、家の教会と密に連絡を取って訓練を持ちます。ある時、訓練中に公安局が押し入り、ある外国人教師たちは国外退去になり、ブラックリストに載せられました。ブラックリストに載ると、再入国が認められないか、仮に認められても監視される可能性があり、現地のクリスチャンを危険にさらすので、勧められません。

こうした苦い経験を踏まえて、それ以降はより慎重に

訓練会をするようになりしました。例えば複数の外国人が奉仕する時には、宿泊に決して同じ宿を使わない。外国人教師が捕まっても、訓練がどこで行われたかをバイクで移動する吉田恵利子師言うことができないように安全策を取るなどです。



そういう訳で、妻と私と一緒にベトナムを訪問した時も、二人は分かれて訓練場所に向かいました。（さすがにこの時、家内と私は同じ宿でしたが……）宿から出て、予め教えられた場所に出向きます。迎いのバイクが別々やってくると、知らない運転手が「山」と声をかけます。それに「川」と答えます。すると、そのバイクに乗って走り出し、あちこちとぐるぐる回って普通の住宅に到着します。教師が万が一捕まっても、どこで訓練会をしたかわからないようにするためです。すでに、ベトナム人のリーダーたちが集まって、熱心に祈りと賛美を捧げています。そして指導者のための朝から晩までの厳しい訓練会が始まります。（続く）

## 西日本豪雨災害の支援報告

深草キリスト福音教会 山口琴美

平成30年7月西日本豪雨災害が起こり、私は九州キリスト災害支援センター（以下九キ災）の繋がりです。9月に約1か月間、岡山県真備町の避難所支援に行きました。

11月現在は仮設住宅が建設され避難所も集約されてきていますが、当時はまだたくさんの避難所があり体育館などで避難生活をされている方々や被害を受けながらも自宅で生活されている方々がおられました。どなたも長期的な避難生活にストレスを抱えていたり、台風が度々来ていたのでそのたびに川の水位が上昇したり土砂災害の危険があったりと恐怖や心配で心が休まらない状態がありました。そんな避難所では、市役所の方々がそれぞれの避難所にて12時間交代で運営支援され、また他県から保健師や役所の応援が入っていました。

私たち看護チームは、今までの被災地支援のつながりでボランティアが入り九キ災の方のお手伝いとして避難所を使いやすく使用できるように掃除や環境を整えたり、ストレスを抱えやすい子どもたちと遊んだりしていました。また避難所の食事は、朝昼はパンとおにぎり、夜は4種類のお弁当がひたすらルーティーンで配達されている状況でした。私のいた避難所は特別に調理場の使用が認められたため、塩分過多や食事のバランスなど健

康を配慮して野菜と温かいスープが取れるようにと毎食調理して食事の提供をしていました。

看護チームは、災害支援専門看護師や臨床心理士の方々がおられ共に支援していました。私は避難所の支援が初めてだったので、悩むことが多くありましたが、看護チームの方々を通して今どのような支援が必要なのか、今後どのような状態になっていくのかなどその時に応じた支援の方向性などを時間があれば話をし、色々教えてくださり助けられました。市役所の人たちも初めての運営や長期化で疲れを覚えられていましたが、共に話し合いながら協力して支援に携わることができ感謝しています。被災地は避難所がなくなり、仮設の入所がゴールではありません。今もお苦しむ方がおられること忘れないで続けてお祈りください。支援にあたりお祈りくださった多くの方々に感謝します。



被災地の体育館

看護ボランティアチーム

## ～信仰継承～親から受け継いだもの

京都キリスト福音教会 置田信也



私の名前は祖母がつけてくれました。「信じる也(なり)」という意味です。祖母は信仰にとっても熱心でした。食前や寝る前には必ず祈っていました。食べないのかな……と思うほど長い時間祈っていました。私や兄弟たちが健康に不自由なく生活できたのは、その祈りがあったからだと思います。働いていた母の代わりに食事の用意をしてくれましたが、よく賛美歌を歌っていました。メロディは間違っていないのですが、とても高いキーで歌っていました。今でもその声が耳に残っています。私は、神様を信じる者の普段の生活の姿を祖母から学ぶことができました。

父と母もイエス様を信じていました。両親は大阪の町にある教会に通っていました。とても大きな教会で、両親が礼拝に参加している間、私は庭にあるブランコやジャングル・ジムで遊んでいました。私にとって最初の教会はとても楽しいところでした。時々、牧師や兄弟姉妹が家に来て、家庭集会をしました。その時は叔母やいとこや、近所の人も参加しました。集会の後の食事ではデザートも出て来て、

こどもにとっても楽しいプログラムでした。

私は6年生の時にイエス様が救い主であることが分かりました。周りの大人になかなか認めてもらえず、やっと中学生になった時に洗礼を受けることができました。高校生になってスランプに陥りました。自分の心の内側を考えると、まったくクリスチャンらしくないことに気づいたからです。その時、「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」というローマ書10章10節のみことばによって、もう一度信仰を取り戻すことができました。

私は、今になってあらためてクリスチャン・ホームの祝福を感謝しています。全世界を創造された神様がおられること、救い主なるイエス様がおられることを、当たり前としている家庭で育つことができました。これは大きな恵みでした。幸いなことに私のこどもたちもイエス様を信じました。これからも自分の信仰を生活の中で現していきたいと思います。

## ～信仰継承～親から受け継いだもの

栄シャローム福音教会 小山英児



「私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたのうちにも宿っていることを、私は確信しています。」(IIテモテ 1:5)

テモテは三代目のキリスト者でした。私も三代目のキリスト者です。母方の祖父母は戦後キリスト者となり、自宅を開放して、家庭集会、日曜学校をしました。父はそんな母の兄に導かれてキリスト者となりました。祖父母は聖書を配布するギデオン聖書協会のメンバーとして、熱心に聖書を配布していました。ただ、私が物心つく頃には、祖父はアイス・バケツ・チャレンジで有名になったALSを患い、寝たきりの状態でした。でも、私の祖父のイメージはいつも輝いていました。祖母は、朝早くから聖歌を熱唱し、聖書を音読する人でした。

そんな祖父母の信仰を継承するかのごとく、両親もギデオン会員として、今も聖書を配布しています。両親は今も夫婦一緒に聖書を通読しています。

私が親から受け継いだもの、それは、「聖書信仰」だと思います。幼い頃から「聖書が神のことば」という信仰は

揺らぐことはありません。イエス・キリストに出会ってからは、自分も聖書を通読するようになりました。創世記から黙示録まで、今まで何度通読したか数えていませんが、今も、通読を続けています。私は聖書が大好きです。聖書を読むことも大好きです。聖書を研究することも大好きです。私はもっともっと聖書を理解したいと願っています。このような聖書への姿勢も、祖父母から両親、そして、今、自分が親から受け継いだものと思います。

実は、妻も三代目のキリスト者です。妻の祖父は、19歳でキリスト者になり、90歳まで教会の会計を担っていました。「我、天に宝を積むなり」と捧げる人でした。病院に入院しても、召されるまで、毎月の什一献金を、息子たちに託して、欠かさずに所属教会に捧げる信徒でした。それだけでなく、戦後、シベリアに抑留されていましたが、帰還したその日を覚えて、毎年、その日に感謝献金を捧げていたそうです。また、経済的に厳しい近隣の教会を支援して欲しいと、所属教会の牧師に何度も献金を託していたそうです。家族は、葬儀の時にはじめてそのことを知らされたそうです。妻がそんな祖父から最後に聞いた言葉は、「感謝、感謝、わしの生涯は感謝だけや」でした。

## あかし

## 「新会堂完成」

保土ヶ谷純福音教会 長崎浩一



1951年に米軍兵舎を譲り受けた最初の会堂を1964年に建て替えてから40数年が経ち、会堂の老朽化に加えて借地更新が近づき「次代に借地料の苦勞は残さない。自分たちの土地に教会を建てよう。」と決めたのが2007年でした。それから約12年の時を経て、今年1月27日に新会堂献堂式を迎えることができました。

突然の地主からの更新料裁判の訴えや牧師の辞任など、現実的な戦いや霊的な戦いの繰り返しでした。その上に資金も人材も信仰もビジョンも不足という、人間的に見たらまさに不可能な状況でしたが、「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって」と主は言われる。(ゼカリヤ4:6)。この御言葉の通り、主の助けによってすべてに道が開かれ必要が満たされ新会堂が完成しました。

長く感じた12年でしたが振り返ってみますと一番良い時、主の時であったと実感しています。心から主の御名をほめたたえます。

## 「関西聖書学院教会刷新コースを学び」 金津・丸岡福音キリスト教会 菅原純次

平成25年11月下旬、丸岡福音キリスト教会森田<sup>よしのぶ</sup>令信師が天に召されました。その後を引き継いで、数年間は先代牧師の牧会継承を掲げ、メンバーとの信頼を築いておりました。

平成28年のある日、聖書を学んでおられますと、「イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を見た。」(創世記26章12節)とありました。イサクは独り立ちした時、全く新しい形態を作りだしていきました。この御言葉が妙に心に入り、翌年関西聖書学院の教会刷新コースに入りました。私は六十数歳、いまさら「教会に種を蒔くとは」との自分の心に自問自答しながらの学びでしたが、多くの学びの中で、即、実践活用できるものも多くあり、出来る限り学んだ事を教会に活用しようと努めました。講師の先生方には心から感謝いたします。また、このような学びがある事を皆様に紹介いたします。



## 「神より生まれしもの」

亀岡ベタニヤ教会 田中恵子



今から19年前、小さい2人の娘を連れて初めて教会に行った私は、その1年後に信仰を持つようになりました。教会に通ううちに婦人で特別賛美をすることとなり、初めて聖歌「神より生まれしもの」に出会いました。3番の「わが子をつかわしたまえ、わが富もちいませと」の部分になると胸がじんとして自然と涙が流れ、神様に与えられたわが子を神様につかわす、というところになぜか気持ちが高まりました。当時長女は7歳、神様が娘を導いてくださるならそれほど素晴らしいことはなく、本当にそうなればいいなと思ううち、この聖歌は私にとって特別な曲となり、自宅でもよく歌っていました。

娘はその後18歳で関西聖書学院に入学、卒業するまでの3年間多くの出来事があり、一旦離れた家族も再会して再出発、娘の信仰を通して私自身とても恵まれ、祈ることを学びました。娘はこれからも神より生まれしものとして歩くでしょう。私も後方で祈りつつ全てを委ねていきたいと思えます。

## ■ 新教職紹介 〈イースト〉



白田百合子師



小川裕司師



廣瀬開師



三堂弘治師

4人の先生方を就任、着任された時系列順にここで紹介させていただきます。

大佐和キリスト教会：3月3日、白田百合子牧師が就任しました。白田先生は鹿児島出身、大阪で就職、JEC八尾栄光キリスト教会にて受洗、献身、KBIを卒業後、長年JECの教職者としてお働きを退職までされ、この度、大佐和キリスト教会に就任。

町田純福音教会：3月10日、小川裕司伝道師が副牧師に就任。廣瀬開兄が今年3月にKBIを卒業して伝道師に就任。

保土ヶ谷純福音教会：3月31日、三堂弘治牧師が就任しました。三堂先生は広島県呉市出身、JEC狭山福音教会にて受洗、その後異端セミナーにてジャン・ドウゲン牧師と運命的な出会いがあり、ニューライフ・キリスト教会に転籍。大阪での塾の講師、中学の教師を経て献身、KBIを卒業後ドウゲン先生の元、伝道師を経て2016年牧師に就任。この度、保土ヶ谷純福音教会に就任。 (芳三容子)

## ■ 賛美集会 ♪ PRAISE JESUS HOUR 2019 〈FCMF〉

神様を賛美したい！との熱い願いから、3月31日（日）午後、福井自由キリスト教会に6教会30数名が集まり賛美集会が持たれた。声の限り主を喜び歌い、心を注ぎ出して祈り、信仰の友との新しい出会い、懐かしい再会を楽しんだ。「水の上を歩く（マタイ14章22-33節）」と題して菅原道夫師が語られた。(1)「主に従って漕ぎ出すと、追い風ではなく向かい風が吹く」試練は成長をもたらす神の恵み。(2)「イエスが水の上を歩くのは当然、しかしペテロが歩いた」ただイエスに出会った人だけが歩める完全に罪のない（赦された）人生、全く新しく変えられた人生。(3)「ペテロは風を見て沈んでしまう」ご自身の証しを交えて、沈まない主と共に歩く、主が背負って歩いてくださると語られた。青年たちの顔は輝き、信仰の決意を新たに帰った。感謝！ (札幌みどり)



FCMF北陸 賛美集会

## ■ 「長老・執事訓練コース」——うつの予防と対策 〈キリスト福音〉



キリスト福音教会長老・執事訓練コース参加者 KFK 聖書学校委員会主催、今回の「長老・執事訓練コース」は2月11日、金沢こころクリニック院長の浜原昭仁先生をお招きし、「うつ病・躁うつ病の理解とケア」のテーマで講義を受けました。内容は、うつの症状と原因・予防で、特に原因については、現代社会の生活そのものが、うつを誘発する状況にあることを語られ、また、うつの状態にある人に対する対処法も教えていただきました。うつにならないために、私たちの生活習慣そのものにも気を付けなければなりません。個人の問題でなく、社会や教会全体の問題です。浜原先生は多くのうつの人々と接して来られ、その経験の中から聖書を土台に教えてくださり、とても有意義なセミナーでした。

上記「信徒訓練セミナー」講義CDをただ今発売中です。下記宛お申込みください。CD3枚セット1,000円(送料共) 申込先：綾部キリスト福音教会（朝子孝一）電話・FAX（0773-42-5359）Eメール ko\_asako@ybb.ne.jp（朝子孝一）

## ■ KBI 新しい風を期待して

去る3月7日の卒業派遣式の中で、福野正和理事長より学院人事の発表をさせていただきました。私大田は2000年より学院長に着任し、2019年度は一期4年の5期目の最終年になります。この20年になるとうとする期間、TPKFの先生方、兄弟のお支えの中で奉仕できたことは身に余る幸いでした。学生兄弟と共に過ごす日々は充実した、楽苦（たのくる）しいものでした。しかしこの数年私と家内は、次世代を育てることが使命であるこの場所に、二人が長く居続けることは良くないと感じてきました。

ハレルヤ！ 幸い主が高橋めぐみ先生を宣教地より送り返し、スタッフとして良いハーモニーで同労しています。これからの一年間は副学院長として、来る20年度は学院長として立ってくださいます。新しい風が吹きます。お祈りください。 (関西聖書学院 大田裕作)

# 教会紹介



## 南さつまキリスト福音教会 所在地：鹿児島県南さつま市加世田本町 27-16

2006年6月15日、とりなしの祈りのために、教会のない町、南さつま市を訪れた時に、主が「あなたがここに来なさい。」と語られました。翌年5月9日、夫婦で全く見知らぬ地に教会開拓のために引っ越しました。最初の一年間は二人だけの礼拝でしたが、少しずつ主が人々を導いてくださいました。週報には、「南さつま・南九州で主の栄光を現わす教会を目指して」と掲げられています。実現することを強く願いつつ前進しています。(上田正美)

## 神戸フィラデルフィア教会 所在地：神戸市灘区岩屋中町4丁目5-10

神戸フィラデルフィア教会は、ノルウェーのルツ・ペダーセン宣教師（FCM）が1950年に開拓した教会です。現在、当教会は、神戸市灘区岩屋中町に所在しており、最寄駅は阪神電車の岩屋駅です。（駅から歩いて3分）

正会員は21名ですが、聖日礼拝の出席聖徒は13名です。ほとんど高齢者ですが皆、神様に熱心で、互いに愛をもって仕える方々です。皆が一つになって奉仕や協力をし、伝道活動をしており、その一環としてNPO法人の働きもしております。（金起賢）



## 教会情報

### ■ 金津・丸岡福音キリスト教会

2月 池田孝志協力牧師就任

### ■ 大佐和キリスト教会

2月 白田百合子牧師就任

### ■ 町田純福音教会

3月 小川裕司副牧師、廣瀬開伝道師就任

### ■ 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル

3月 三堂弘治牧師就任

### ■ 岐阜純福音教会

3月 小山大三顧問牧師、小山健主任牧師就任

### ■ 守山キリスト福音教会

3月 西川道子宣教師退任

### ■ 雲井キリスト福音教会

4月 山崎琴葉伝道師就任

## TPKF 大会のご案内

日時：2019年8月13日(火)～15日(木)

場所：レクターレ葉山（神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村）

講師：聖会・細井 眞 師（十条キリスト教会主任牧師）

ユース集会・倉持 守 師（神の家族主イエス・キリスト教会伝道師）

今から57年前、1962年に第1回目のTPKF大会は開かれました。今年第56回目のTPKF大会が開かれますが、今回の大会実行委員長は第一回目の時にはまだ生まれていません。神のみことばは変わりませんが、世界は変化し続けています。教会は常に新しい革袋であり続けなければ、堅くなり、破れてしまいます。今、TPKFも教会も、イノベーション（変革）を必要としているのではないのでしょうか。聖霊に期待して、今年もふるってご参加ください！



細井 眞 師

第56回TPKF大会 実行委員長 小山英児

### 単立ペンテコステ教会諸教会（名簿順）

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会  
 横浜フィラデルフィア教会 / 磯子フィラデルフィア教会 / 金沢フィラデルフィア教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル  
 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター  
 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会  
 いのちのパンの家 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレースチャーチ  
 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / 文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会  
 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749(三国町) / 武生自由キリスト教会 / グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会  
 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレースチャペル / 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会  
 岐阜純福音大森チャーチ / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレースチャーチ / 本地方原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会  
 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会  
 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会  
 京都キリスト福音教会 / 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会  
 大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィア教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

